

【質問2】地域ビジョン全体または各項目に対しての意見について

地域資源を活かす産業と交流のまち				
大項目	中項目	小項目	意見	提出者
(1) 商工業の再興	企業誘致の推進	1) 工業団地造成、企業誘致及び雇用確保の推	若者の雇用の確保。	永渡行政区
(2) 農林水産業の再興	農業の再生と再興	-	農業(田)作っている人は2件、委託している人は3件、委託出来なくなったらどうなるのか？	永渡行政区
(3) 観光交流の推進	-	-	資料1の重点プロジェクトには「集客イベント 夏まつり」とありますが、資料5や資料2にも文言がありません。夏まつりの再興が無くなった経緯はなんでしょうか？商工会青年部では、毎年夏まつりの再興は話題に上がります。もし、夏まつりをする場合は協力して頂けるのでしょうか？又、他の地域では祭りの際の寄付金集めは役所が主導で行うそうです。その部分の協力はできますか？	江袋委員
(3) 観光交流の推進	交流人口の拡大	1) 映画鑑賞の機会の充実等、主婦や中年にも魅力ある文化事業の展開	小項目の意図するところは、文化事業を展開すべきとの趣旨と思われるので、(経済・産業)部門ではなく、(教育・文化・スポーツ)の「(2)生涯学習・スポーツ環境の充実」に分類すべきではないか。	太田委員
(3) 観光交流の推進			かしまの一本松では全国から多数の方が来市しました。それに代わる、日本一といわれる風力発電所のPR,利活用は？	北右田行政区

健やかに安心して暮らせるまち				
大項目	中項目	小項目	意見	提出者
(1) 子育て環境の整備	元気に遊べる環境の充	-	子どもが少ない。公会堂があっても6号国道があり、子供達だけでは集まらない。	永渡行政区
(1) 子育て環境の整備	元気に遊べる環境の充実	1) 子どもの遊び場施設の設置	真野川河川敷内の整理、整備をどう思いますか。江垂側には子どもたちが遊ぶ遊具があっても、草の中で使用は不可	北右田行政区
(1) 子育て環境の整備	元気に遊べる環境の充実	2) ペットの飼い主のモラル向上	ペット(特に飼い猫)の被害の苦情(畑・植木鉢に糞をする、生活ごみ袋を漁る)	
(1) 子育て環境の整備	保育環境の整備	-	今年、保育園入園の申請をしましたが、(1歳児)入園できず、待機児童になりました。ビジョンには、待機児童の文言が無く、地域として危機感はないのでしょうか？修繕も大事ですが、保育士の数足りているのでしょうか？妻は働く意欲はありましたが、保育の為、フルに働けない状態です。私共のように、子供を預けられればもっと働けると思っている人達は区内に潜在していると思います。	江袋委員
(1) 子育て環境の整備	保育環境の整備	1) 幼稚園、保育園の施設の充実	待機児童の解消を政策として挙げているのだから、保育料無料化を幼稚園も検討し、施設があるのに入所ゼロの対応は早期に解消を図るべきである。(県道からの交通対策も含めて、早期用帆一元化を図るべき)	山下行政区長
(3) 地域医療・介護の充実	市立病院の機能の充実	1) 鹿島厚生病院の診療科の増設による総合病院化	診療科を減らさないように	三里行政区
(3) 地域医療・介護の充実	市立病院の機能の充実	1) 鹿島厚生病院の診療科の増設による総合病院化	鹿島区内において鹿島厚生病院の実力の増強が望まれる。市立病院に搬送になったり、医師不在等の現状を改善してほしい。	西委員
(5) 福祉の充実	高齢者福祉の充実	-	新たに施設を作ることは必要ないが、万葉園には鹿島区の人がボランティアで行っている。しかし、入所している人たちは、他の市町村から来た人が多い。公平を期すという点では良いが、希望するなら、ボランティアをしていた人たちの点数を加算できるような仕組みがあるとよい。県立特別支援学校が開校すると、富岡の東洋学園のような施設ができる可能性がある。その時、「やさしい環境整備」ができるようになるとうい。	新町行政区
(5) 福祉の充実	高齢者福祉の充実	-	高齢者の孤独・孤立に対する不安が大きくなっている。	社協
-	-	-	高齢者の方が安心して免許を返納できる環境。(高齢者の方が病院、買い物等外出しやすいようにタクシー代の補助)	不明

安全で災害に強いまち				
大項目	中項目	小項目	意見	提出者
(1)原子力災害対策の推進	原子力損害賠償請求への支援	-	農業に対する補償が農協より個人で請求するようになって、やり方が分からない人が多い。請求のやり方を農協でやってほしい。また3区バラバラになってしまった。	永渡行政区
(3)消防・防災機能の充実	消防体制の充実	消防団の充実	若い世代が少なく、人員確保が困難。	南柚木行政区
-	-	-	防犯体制の確保(設備の強化) : 鹿島区に9ヶ所の防犯カメラがある。上真野地区には羽山下に1ヶ所ある。車川地区には小学校や農協・郵便局などの金融機関があり、小学生の防犯や事故防止や金融機関の犯罪防止につながると考える。車川地区に防犯カメラの設置を要望する	防犯協会 上真野

明るく環境にやさしいまち				
大項目	中項目	小項目	意見	提出者
(1)豊かな生活環境の形成	自然と人が調和するまちづくり	1)震災を記憶する公園の設置 2)復興のシンボル作り	作るのは良いが、維持・管理を続けてもらいたい(維持・管理に金をかける)。桜平山の万葉公園は(何年も前のもの)、作ったときはよかったが、今は荒れ放題(何でも、維持・管理を続けていくことが必要)。	新町行政区
(4)公共交通の充実	安定した公共交通の確保	-	高齢化が進み、買い物や医療機関へ行くことが大変になってくる。乗り合いタクシーの普及。	永渡行政区
(4)公共交通の充実	安定した公共交通の確保	1)街なかへ行き来する交通体系の整備	みなタクは、高齢者が日常的に利用するには料金が低い。原町の病院へも利用出来たら良い。	社協
(4)公共交通の充実	安定した公共交通の確保	1)街なかへ行き来する交通体系の整備	遠いと料金が高くなるのは普通ですが、あえて遠い方に安くしてあげたり、平等にできないか、高額でなかなか使えないと聞いた。	商工会
-	-	-	桜平山の桜が古木なのか、勢いが無い。散歩コースにしている方々を見かけるが、万葉植物園等を整備して、歩いて楽しい、見て楽しい運動公	不明

地域に学び育つまち				
大項目	中項目	小項目	意見	提出者
(1)学校教育の充実・整備	特色ある教育・魅力ある学校づくり	-	生徒と地域の人とのふれあい。小～高校生がいない家が多い。	永渡行政区
(2)生涯学習・スポーツ環境の充実	だれもが学習できる環境の充実 だれもがスポーツを楽しめる環境の充実	-	子どもたちの学習、スポーツ環境については、学校内、学校外で区分されているが、自主的に楽しめる活動とするためには、その領域を取り外し連携した姿が求められている。また、部活において、スポーツクラブ等の民間指導者が関わるべきとの提言もなされている。学校と地域、スポーツクラブが連携し、指導者の確保を含め、子どもたちが望む多様なプログラムを提供できる環境の構築が当面の課題となっている。	かしま 元気SC
(2)生涯学習・スポーツ環境の充実	だれもがスポーツを楽しめる環境の充実	1)スポーツを通して幅広く人が交流できる体育施設等の整備	野球場、サブグラウンドの利活用	北右田行政区
(2)生涯学習・スポーツ環境の充実	だれもがスポーツを楽しめる環境の充実	1)スポーツを通して幅広く人が交流できる体育施設等の整備	パークゴルフ場の利活用(1)の()内の野球場・千倉グラウンドに追記する)	小山田行政区
(3)地域文化の継承	伝統文化の継承支援	1)相馬野馬追の後継者育成	野馬追の後継者育成とあるが、出来れば馬を入れる馬房の充実等。	北右田行政区

活力あふれるコミュニティのまち				
大項目	中項目	小項目	意見	提出者
(1)地域コミュニティの再生	地域活動の環境づくりと人材育成	-	一人暮らしの世帯が増えている。また独身男性の60歳以上の方も多い。民生委員もまわっているが、10年後等先を考えると対策が必要(人口減も問題)	檀原行政区
(1)地域コミュニティの再生	地域活動の環境づくりと人材育成	-	若い人が少ないので何をしたら良いか分からない。行政区単位での活動は難しい。	永渡行政区
(1)地域コミュニティの再生	地域活動の環境づくりと人材育成	3)各地区に地域コミュニティセンターを設置(防災・非難の拠点及び児童の放課後対策にも活	各地区に地域コミュニティセンターの設置は合併時の方針であった。上真野地区のみ、原町区、鹿島区の中では無い状態である。保育所老朽化解消も含め、早期実現を望む。	山下行政区
(1)地域コミュニティの再生	地域活動の環境づくりと人材育成	-	民生委員になる方がおらず、欠員となっている。見守り支援不足が心配される。	社協

その他

意見		提出者
全てにあてまるのですが、震災関係の予算での施設・機械等、南相馬バブルの勢いでしたが、今後5年、10年と維持管理するだけの余力があるのか、大変心配です。人口減、少子化は止められません。		小島田 行政区
人が少なく、各団体の活動が出来ない。年齢が近い人が少ない。婦人会なし、老人会なし。		永渡 行政区
震災以降、行政区内の状況は、高齢者層の増加・年少人口・生産年齢人口の減少と震災前の人口構成から変化している。特に年少人口が減少しており、行政区内の事業を実施するにあたり支障をきたすのではないかと考えられます。 また、これまでの行事を行うにも7年間のブランクがあり、技術の継承がおこなわれていないことから諸行事や地区内の伝統芸能の継承者が不足している状況にある。		小池 行政区
鹿島区は日本でも有数の化石産地として有名な場所です。学会での発表で新種の化石を中心に毎年発表されています。又、大学生の修論、卒論で毎年研究に訪れている場所です。その中において、私達研究会は震災前は区の生涯学習課と一緒に「少年・少女化石探検隊」の活動を行ってきました。その時は県の補助もあり、参加費は500円/人(年会費)でした。震災後は鹿島スポーツクラブとが引き継ぎ活動を再開しましたが、予算が無く、参加費が2,000円/人となっています。なんとか補助金が出る仕組みが無いのか検討願います。		相馬中村層 群研究会
(あさがお)現在、経済産業省の被災12市町村の生活支援の補助金を受け、移動支援を南相馬市内のみ行っている。障がい者や高齢者の本当に困った人のみですが、月に2回程度の通院、事業所通所、買い物支援等、年間8,000人の利用がある。今後、経済産業省の支援がなくなった場合、タクシーも人手不足の現状で、30分以上の待ち時間があるとの利用者の声がある。デマンドタクシーの研修に力を入れている福島大学の先生によると、区民一人一人が年間3万円程度拠出する(区の負担もあり)とどんな場合でも利用できるデマンド型タクシーが運営できる事、実行している市もあるとの事。今後、高齢化がますます顕著な鹿島区もボランティア等の導入も検討しながら、うまくいっている市の見学などとして整備を考えるべき。		西委員
鹿島区にできる特別支援学校の応援体制について。鹿島区にできる支援学校には何名が通学するのか、電車ではあまり通学しないから駅舎での支援は不要とのことで、家族の送迎が主であるとのこと。しかし、社会生活をどこで営もうといつまでも家族の送迎で生きていけるわけではない。駅舎を地場産業の発表の場所や、高齢者の居場所づくり、情報交流の場として見守りの場としても活用してほしい。利益のためでなく、地域再生の場所として活用してほしい。		西委員